

歯科技工士が歯科衛生士に伝える、シンプルだからこそ大事な臨床における技工テクニック

片山大輔

医療法人しみず歯科 グランデンタルクリニック 勤務

岡山県歯科技工士会 理事

生涯研修実行委員

抄録

近年の歯科界でチーム医療が重要視される中、特に歯科衛生士と歯科技工士の連携が不足している現状があると感じています。

そのような中で、岡山県歯科衛生士会と歯科技工士会の合同研修会が開催されることになり、大変嬉しく思っています。

この度の合同研修会では、院内技工士として長年歯科医療現場に携わる私が、精度の高い補綴治療を提供する為に、皆さんに共有して頂きたい事項として、以下の3点を中心にお話しさせていただきます。

- ①従来の印象採得における、ケースごとに注意すべき点と、石膏注入と保存方法の重要性について
- ②近年のデジタル化で普及の進んだ、口腔内スキャナーを使った印象採得の紹介と印象後のチェックポイント
- ③支台歯の色調や咬合状態など患者ごとに異なるケースにおける、補綴物の選択基準とメンテナンス時の注意点

この研修会を通じて両職種の理解を深め、ディスカッションすることにより、より良いチーム医療の実現に近づければと思ってます。